



## 2 地価の動向

### (地価上昇の推移)

地価上昇は、83年頃に東京都心の商業地に始まり、プラザ合意以降の金融緩和の下で、区部の住宅地地価の上昇率が高まるとともに、86年、87年と東京圏の商業地、東京周辺の住宅地へと波及していった。88年に入ると、まず都心部で沈静化し、区部の住宅地、東京周辺の住宅地も沈静化し、一部の商業地、住宅地では小幅ながら下落がみられた。他方、87年には大阪、名古屋の大都市圏で、さらに、89年には地方圏で著しい上昇が見られるようになった。このような動きが続くなかで、一度は沈静化の動きをみせた東京周辺の住宅地の地価上昇率に再び高まりがみられた。90年には、一部地方中枢、中核都市などでは根強い地価上昇がみられたものの、大阪圏などではピークを越え、秋以降東京都や大阪圏では小幅ながら総じて下落するようになっている(第2-1-1図)。

出所：『1991年度経済白書』第2章第1節 資産価格の形成